







# Antichi Vigneri Manca

## アンティキ・ヴィニエーティ・マンカ



アンティキ・ヴィニエーティ・マンカは、サルデーニャ島北西部ソルソでアレッシアとノエミの二人の姉妹が営む家族経営のワイナリーである。実際にはアレッシアの夫ジャンパオロや父親も日々の畑仕事と醸造を支え、家族一丸となって土地と向き合っている。祖父母の代からワインやオリーブ、菜園を営んできたが、転機となったのは2007年、祖父の古いカンティーナで約20年前のヴェルメンティーノを味わった経験だったそうだ。畑は海に近いロマンジャ地区に点在し、強いマエストラレー（北西風）が湿気を払い、昼夜の寒暖差を生む。古いアルベレッコ仕立ての樹々は、石灰を含む白いマール土壤へ深く根を伸ばす。セラーではコンクリートタンクを中心に発酵・熟成を行い、サルデーニャ島の風土を、そのままワインの中に映し出すことに専念する。

	○IGT Romangia bianco - PINÙ ロマンジャ・ピアンコ ピヌ			備考 キュヴェ名は父、ピヌッチョの名前から。サルデーニャ島に広く分布するジロ・ピアンコ主体のキュヴェ。 ジロ・ピアンコはスペインからもたらされたと考えられ、酸が控えてアロマティック、しっかりとしたタンニンの骨格があるとされる (Robinson, Harding & Vouillamoz, Wine Grapes)
	畑	品種：ジロ・ピアンコ ヴェルメンティーノ 植樹：1990年代 位置：標高180m、北西向き 土壌：石灰質	醸造 コンクリートタンクで4日間醗酵 コンクリートタンクで12か月熟成 濾過、清澄なし	
	○IGT Romangia bianco - Li Sureddi ロマンジャ・ピアンコ リ・スレディ			備考 リ・スレディはサルデーニャ語で「姉妹」を意味する。彼女たちの造りを知る入口となる、地域の個性を備えた白ワイン。 スキンコンタクト数日しているが、色合いは少し濃い黄色程度。垂直的な骨格で塩味が後味まで続く。
	畑	品種：ヴェルメンティーノ ジロ・ピアンコ 植樹：1980年代 位置：標高180m、北西向き 土壌：石灰質	醸造 コンクリートタンクで4日間醗酵 コンクリートタンクで18か月熟成 濾過、清澄なし	
	●IGT Romangia rosso - Li Sureddi ロマンジャ・ロッソ リ・スレディ			備考 リ・スレディはサルデーニャ語で「姉妹」を意味する。彼女たちの造りを知る入口となる、地域の個性を備えた赤ワイン。抽出は強すぎず、赤ワインとしては珍しく塩気がはっきりと感じられる。海の近さによるものか、あるいは海洋性石灰土壤に由来するものか。
	畑	品種：カンノウ 植樹：1980年代 位置：標高180m、北西向き 土壌：石灰質	醸造 コンクリートタンク8日間醗酵 コンクリートタンクで24か月熟成 濾過、清澄なし	
	●IGT Romangia passito - Settimia ロマンジャ・パッシート セッティミア			備考 セッティミアは父方の祖母の名前から。モスカートは島の他の品種に比べて生育サイクルが短く、通常、気候が安定した年であれば最初に収穫することも。樹上でのアパッシメント（乾燥）を行い糖度を高めた甘口ワイン。 2023VT: Alc.15%, 容量：500ml
	畑	品種：モスカート・ピアンコ 植樹：1980年代 位置：標高180m、平地 土壌：石灰質	醸造 ブドウ樹上で切らずに乾燥 コンクリートタンクで4日間醗酵 コンクリートタンクで18か月熟成 濾過、清澄なし	